中村俊定文庫
文庫 18
561

試筆

春ふかみ
花ちる庵の春

杉雨庵

古庚子歳

中村復定文庫

香雪軒

試筆

あらたまるとしの
初りの庵の春

杉長庵

寅子歳

中村俊定文庫

月次白谷むつみ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の花や大和めぐりのうらさかり　[illegible]

おりべや孫うゑ中に世豊国　穂白

唐衣葉の名殺よりいくやよ雪子　岩佐絵峠　東州

梨はく中あらしをたちる山桜哉　葉樹

這も出めきかり葉　数かいこが　下野孫子　仙金

孫生おらは嶽嶽の古寺尋りて　米儀

孫紙りゑ傳をいっしと流生が　江戸　春園

卯の花月は

梅雨切てほうんを流るかし　東童

雨ふり〳〵二歌めきし〳〵梅のやうか　巴井

夕敲のうちうちあまてふく牧うる　芙白井　年川

給うる宝めき　芙白井　赤風

雨ふりをの梅ひを　江戸

ちりこうちや牡丹の殿の姿　芙白井　卜二

白井

牡丹花や精をほよ綾〳〵ふ　可笑

八重や雨ふりの日を晴て青あり　米儀

あをふり〳〵ちはやと切ふ橋本が　芙金亀　紅二

うきを多紙義枝よ水を刺き〳〵　小沢日　暁也

鶯の羽根ぬきをうゑ〳〵卯月が　白井

皐月を

御ぞや青里ありふ一ふほうを　亀屋　糸松

ちつくと野中の井ふを　芙樹

京地手いふ〳〵むいみうる　糸左

けたうの田も田ふ〳〵皐月が　風竹

青田ふ〳〵ふ〳〵つう〳〵堰の　春園

京地ふちかしし紅絡のふうが　巴井

京地ふち麦藁枕を小楯〳〵　屋〳〵

咲あるる日の雨ふ〳〵皐月が　芙雨　玉陽

大幸寺の法華寺月夕　石井

月夕

朝くもの晴るる空を暮ふかるる日を前人の愛
宮殿やたそかれ時の月やいづこ
大池をさしうつるこの葉かな　巴井
朝ぼらけ　相の一葉や故ゆゑ出る
月夕の源氏中原の月
村雨ふる日つくり原の月夕　巴井
月やうすし雲晴れ雲のかなたより　赤藤
月やいづこ雲ふかき所の明るい方崎　笠松
山の月
山ふかし月も出るとも鳴く　白雪
故郷の月は羽黒の月　白竹

八月中旬より自然の物　上毛花谷　巴舟
むしをも出るの花かな
故郷の月一ちのこの行末　笠後
ちはや所の月夕　春園
むしを吸やたそかれ　東風
野をおし負ふを　江戸
八月や星ハ月の稲の角
月や星ハ月の稲の穂　放生寺
月やたそかれ　白の雪

夜の紫月

野ぶすまの鳴るかしの木の子　安房藤崎　翠堂
草こうや出入金の杖の中　上毛田口　白羽
紙屋や小ぶ抑る宮寺　麓足
秋百や芋紙屋より品　春園

[illegible]

人妻や枯蓮の[illegible]　亀足

山伏や秋を[illegible]　[illegible]

[illegible]　江戸　[illegible]

第月を

[illegible]　正井

[illegible]　亀足

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]きよ[illegible]江戸　[illegible]之
下[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
遠山の[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

極月は

寒月や[illegible]　亀足
[illegible]　[illegible]
朝の[illegible]　上野蓮台　柳志
正月の[illegible]　[illegible]
老人や[illegible]　[illegible]
[illegible]

雪

悼　文月廿日

寂雲禪定大定門風流の[illegible]を赤[illegible]竹[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

月よ[illegible]や秋の雪　[illegible]

風雅なる人しらるの美を尚ぶ
丁寧なる社会をしの前ちたるべし

蜩風や竜ともあらぬ石ひとつ　素川
きさらぎのちらいかゝふしをしらる　青路
ふるはよりかくもとろ一秋の雲　志計
わしをもしらぬ蜩の鳴くなる　桂郎
いちはつのかしてけせを枝くり　二曉
海苔よりなる
かをしを友をわたるかゝるや雲の峰　五風

蜩

つくまとて学のまれる
学者蜩
活のあるこゝろ
ふるりとあり秋の蜩

追悼

五つ子孫生ある義命国の為に世をうゝ詩を計まを
吹しるこゝ人間門より親しを寄つくさ時やいつまを二宮を物語多
しをこゝを風流の俳家をこゝ学に技を義く良技の活えい
かゝるひとつよ深人といを称をこゝるるこゝ花好芸を
ゝるの空をこゝ山ゝ風狭を活こゝ志ゝ山ゝ二宮に踏こ
おもしいやこゝは横よ八こゝ月中踏こゝん　五人

岐蘇路の紀行

美濃のいきゝ方はもゝ流蓮をおゝ流ゝ
御ゝ第一の地ゝこゝ余ゝ約ゝ武蔵の光ゝ陸も
君ゝ後人の宮に技ゝ学ゝ君ゝ付の御ゝ
磐石ゝ日本拝人近ゝ通ゝ日生ゝ加中

この夜は――和尚と共に夢語り――
伊勢内宮の宮司唯一の例会に俳句を樹立を南窓を
悼みて長谷を喫し――そこそこ浮き
ひもろぎ　伊勢
ひもろぎの　立てしめ夏の日の白し
義陳義仲寺和尚碑前
え　縁　や　八十　隠　年　芝の　花
京師より入る国学者の橘夢子を訪ひ沼田
蘭坡子を訪ひ和泉の新祥寺に孫ぢをの御を
訪ひ八幡宮に参詣し長谷寺に参り
社友と共に懐通の印を集の寄句を乞ひ帰路
高槻に松坂一業を共に俳会を催し風交を
多毎月毎の俳業をこと尽きるを俳句を作る

妙法寺に参詣し上毛の沼田の山
沼田の年――に寄句を乞ひ年内に十八坂七曲
を越す
十月の沼田の山――いく山路かな
戸倉駅の橋
多摩――――橋を――橋を――ら
多摩井の沼田の社中に風信――風橋本氏を
訪ひ三嶺を訪ひ先生の家に忘を偲び
坂を――――百付を――――坂を
三沢金吉の墓に二坂三坂の孫を――――
庚辰の歳暮――――――――――
――――――――――孫の――
――――――――――

月次　　定連　江都

[illegible]て桑鳩ら　雲や雪の白　蕎麦

岩は一カ雪も梅カ白ひらか　石井

立ち月の尺らもく梅やきつ一くも　桑之

雪や雪ほの雪ら蓮　うきむ　竹類之

作山ま繞　桑ら雪ら　笠泉

桃炭ま雪ら雪ら　雪かち　西味

夏ら雪と月尺ま提　梅ら一　江左

雪ひら雪茅雪や立ま白　雪堆

体ら雪ら似ま[illegible]や西代寺　平礎

ら雪や雪の雪一四一雪造　雪宵

ひし雪や桔一　梅ま鈴口影　豆生

滝ら雪や取梅の中の石蔵の花　素雪

喫く猫の癖ら尺ら梅の花　石禮

金の月八板の蓮の雪ら雪　桑徑

ら雪ら雪や机の　紙も体ら附　弥雪

表ま雪体ら梅の白ひ　雪

[illegible]川の末　二度
下[illegible]や蓑かゝ[illegible]　多吉
[illegible]　柳線
蚊もそゝし[illegible]の際の青田が　素風
[illegible]　子文
[illegible]　五風
[illegible]　素川
さい[illegible]の人の[illegible]　春路
[illegible]の朝[illegible]　玉笑

[illegible]　翠雲
川[illegible]中に[illegible]　志計
[illegible]の月[illegible]　春笑
[illegible]　重坡
川中に[illegible]　雲雅
[illegible]や[illegible]　百丈
[illegible]　五嵐
[illegible]の[illegible]　木菫
[illegible]　線山

冬ごもりして春を待る花火哉　少年　風味

聖は花より人間もよしも春の面　森仙

ちつちゝや春を紅梅苗の切口　可弓

ちるちるや白い面穿るはもちよりの　暮原

武蔵

枝ぶりの柿よ春や夕の月　八重　笑光

春雨より朝ごとの砂糖かな　字曉

面頰よ銚のけいこの笑ひ　止窩

春祭や世をそこ侍る義若菊　仲百

一筋ゝ滝のひくきや花の夢　柳牛

物ごゝろ月ゝをゝ花を弟子ゝ　徐風

後の月山の端ちらゝ雲を　市井

ちるの月春をきく人のかをかな　子雪

人をそこなはのゝ春や義の臺　筑田　文鄉

踏ゝ雪きゝゝ春や春の面　糠田　蓬臺

春夢よちゝゝらゝ面壁かな　鶴井　澧小

雪や炬燵の垣のゝゝゝ　角四平　其山

雪の夢花いまをし寄りけり　ちゝ　山号

川岸の日うらゝかなる春の後　北川氏　丘重

梅ちゝやゆきうすかるゝ　利川

義治の梅ゝ色白き樹ゝ　儀之　立市

煙をうゝ蕨のなををるゆゝ　俄堵

蕨の芽や多り川のきしを取　川山寄　素江

帰る琴夜の中ゝ高枝ゝ　乗門

夕ゝ花や中日ゝ遠の鶯少し　徳堂

鶯声の先ゝ来しゆふゝ　二溟

遠近ゝつゝ若ゝゝ木の芽ゝ　紫柳

花の上ゝ雲ゝ年ゝ歩ゝ　素多

松京に日ゝ雲ゝ絵ゝ　ちゝ也　何竜

下陸

春の堤ゝゝ風ゝ荒ゝ　鈴子　夏雲　雲枝　白井

中ゝしゝ大ゝ小村中　莫子　鈴　麻ゝ

春日中高ゝ山ゝ　ゆゝ　美映

むゝゝ遠中遠堤ゝ　物ゝ　何茶

物ゝ見ゝ絵ゝ　秋　陸洲

千ゝ小ゝ中春ゝ遠ゝ　玉竜

怪石中書く畫をくしりて
又まくるや筆墨の中の鬱鬱
須くるかいをくを傑の広くをかい
もの物くをかくかくしやうや白
桜くをや公しくるい青紅所をを
筆ケ田を桜をはしまはしまの白
雪ぬくくを雲の小船を焚火が
をかくしをを紀行をを取
月公しし海を遠しくしをくかく

金岡
劍皮
石経
雪雲
雲山
虫洲
宗練
十州
行西

桜をを白しくくを山家が
壁の中やもをを清をよをの影
一弱の象面よ杯のにくをを
筆紀をや大をか象の書くくを火
畫塔や帝孫奇くしくを書の白
筆の桜や家かくを堂りむ桜の未
我り面や点くかくを日一日
十二月や雪の明を
咲くを木桜を書やを数が

筆史
石二
舳月
石岩
石之
石窟
石花
石川
東江

金の月を宮ちかの門　孤柳
一羽ずつ森ゆく蓬　紅色
境田や柳ちに花木槿　夕塵
八月や赤ちかしく辛子　風吟
引ぬや孫田の四ふしちかく　東地
岩ちしを岩あるちかく重解ず　池垂
祇ちや郭中の蓬ゆ蓬　東尾
柳ちしの赤ちえしや重の朔　虫塵
蓬ちの四ちの節ちく紅葉ゆ　茶茗園　烏翔

入柳や赤ちかく重境ちく　源壁　東垣
赤第ちや月ちの月ちかく　夕蓬
月ちかちや際の秦ちむ丘坪戸　其足
ワちかちや赤ちく柳ちく秦絲子　林花
夕柳の柳ゆ赤しく重ちく　玉英
夕ちゆや時ちく重ちの羽の赤ちく　歌俊
柳と咲ちかちく重ちく花ちく重　続く
東風吟や四ちゆ夕ちの赤ちく濁り　貴說
赤ちの口を遊ちも境ちの風中　少年　繰之

[illegible]の羽の一[illegible]　文代

[illegible]の[illegible]　[illegible]　亀石

[illegible]の[illegible]一[illegible]　徐舟

[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]

冥日　[illegible]

[illegible]　文麿

[illegible]　雲曲

小松　[illegible]深

[illegible]　[illegible]松

[illegible]　寸雲

蓮沼　柳志

[illegible]　柳百

[illegible]人　[illegible]

[illegible]

[illegible]　星爲

[illegible]　[illegible]　伝洲

[illegible]　玉雲

[illegible]　紫交

[illegible]　軽車

[illegible]　[illegible]雲

[illegible]　索須

索盛山下　[illegible]

[illegible]　[illegible]

まがしやひとうと杉こま　一の宮遠　梅雨

夕の月まさしくあるのあらちが　信風

こうち中に清うて蒸す花　百夕

晩蟬を少々行やタ寒　梅味

作山す蓋晩しまうしく社　斉風

蓋翠や佐倉あき野の夏　京水

安ちこうちや葉あす松ひ　弁志

大夢や茶漏迄しまうしく　十竹

木宮の宮殿す言ちまうしく　前若　林翠

秋きやうの仲のあらやをそ船　夏口

ちの月るをいうもしと蓋ふ　去田　至源

相模

松ちこや松ふこ宮さ宮しう　用田　李保

山ちの花や秋ちの四人の　李木　梅明

まがしいあらいくあるこうり花　雪山　月樗

るのいくうちの彩や春の風　林舎

大ちうす玉蓋ちう松しかうさが　少ちう　李諸

ちうちうちう時竹蓋へ出こうす　意明

[illegible]ふ花さい所ちるをみちを風　戸板　詩文

[illegible]の松や色の深　大城　[illegible]

[illegible]足の跡　[illegible]ちる柳　白白　大梁

[illegible]夢かちよ文行まてや可　一梅

[illegible]夢柳や一本こまの[illegible]塔　仮田　春時　之吟

[illegible]の[illegible]柳[illegible]　京明

一一[illegible]沖[illegible]の[illegible]かをり　沼田[illegible]園　財弾

月[illegible]の[illegible]の[illegible]　奥川

沖[illegible]納し[illegible]　圭郎

大[illegible]月[illegible]新が　宗也

[illegible]安[illegible]足[illegible]　[illegible]

[illegible]ちよ切り[illegible]　一[illegible]

[illegible]月[illegible]　巴陵　日野

[illegible]波[illegible]が　麦象

[illegible]陽[illegible]の[illegible]　如[illegible]

[illegible]月[illegible]　梅志

[illegible]尋出一　[illegible]

ゆく春よ千住の奥ちかきかな　京都
遠かちをくるる花よ惜しまん　五湖
夏京や姓別りくるる人の玉　眺花
夏深し　京の桜のこまかな　青丸
ふる雨の音ちかく堰こうる　其雲
小雨よ秋もふかる地蔵かな　五湖
矢倉しいつる茶屋かしを小蝶かな　岡田写先
地蔵ちれて埋火ちかる家多　上谷井　保雄
枯野もしく家よ風ちかる夕アかな　卜二

ゆくをよ一ふ枝の二ふを枯野かな　烏文
仮風よ山を吹ふ千ふ山夕
ふ山を野の少ち西く秋明かな　簾白
ふかしや猿蓑の少ふ人原　別の之　青交
ふふやちつていさふちら波　北星
春雨や嵐遠ふ朝の神　ゆふ　蓑郎
星ちふ猫ふちふく枯野かな　白井保雄　多路
川秋よ春ふを杉の少ふかな　太祇
何年ふ年ふ年を猪ふかな　新　雨風

[illegible] 帰雁
[illegible] 一[illegible]
[illegible] 亀曉
[illegible] 路長
[illegible] 五風
[illegible] 駅川
[illegible] 一[illegible]
[illegible] 圭之
[illegible] 北之

[illegible] 洪升
[illegible] 五明
[illegible] 地牧 菅狐
[illegible] 鄭秀
[illegible] 三江
[illegible] 多埼
[illegible] 菅星
[illegible] 二子埼 清水寺
[illegible] 殊[illegible]
[illegible] 小磯

[illegible]

羽笠
英冥
桐井
索寥
（以下花笠）
吸竹
吸玉
羊蜂
笠松
書語

[illegible]

湖青
[illegible]
一巷
一巷好
[illegible]
（倉ヶ崎）
新二
（下仁田）
[illegible]
畜牧
一巷
玉村
雪石

秋風やむ〳〵蟬の聲　板倉釈雪

山寺や石の上ぬいかかり　一茶

蟬の聲秋の中なる　洲石

蟬の声ふかい心ふ寒石　乗白

大寺や蟬の聲より高し　梅白

小石塔蟬いまつゝん　洲什

蟬一の聲鉦ゝ金　春鶯

蟬や千年おく秋の世の声　春園

蟬に声ゆゝ寒ゝ　梅堂

蟬ゝ〳〵千日塔を出ゝ声〳〵　常白

蟬の声きゝ定ゝ堤ゝ　柳秀

蟬ゝ〳〵ゝ　金吉　雪白

蟬の声ゝ　晴白

蟬の声ゝ　地

蟬ゝ〳〵ゝ　卜白

蟬の声ゝ　晴白

蟬ゝ〳〵ゝ　引間　大露

蟬ゝ〳〵ゝ　文堂

蟬ゝ〳〵ゝ　巴角

秋風よ角力の太鼓失へ　大八木　琴舟

村長の羽織よ[illegible]　[illegible]源　文笑

紅蜻蛉　[illegible]山の[illegible]　可眞

川の流よ[illegible]　[illegible]　[illegible]花　[illegible]蓋

[illegible]　[illegible]　豊園　意山

[illegible]　[illegible]　[illegible]　和眞

命拾ひ　風もうれしの月　白休

殺[illegible]　[illegible]　[illegible]　

[illegible]の夢みるきよ田和、うゑ
青風や[illegible]千大根　乗彩
枯咲く爐のもとに青白ひ[illegible]　笠後
こうろしと峠を回る槻の枝ずれ　ゆ幸　夢蓼
白魚のひかり澄[illegible]青の多　千丈
稚漁し和歌ふかく　こ倩　物語
[illegible]作や[illegible]小杉原　敲竹
夢の世を[illegible]人のちらず　乳尾
はらはらと[illegible]小紙を　阿[illegible]

はこそ[illegible]やさきを回る海の面　雲[illegible]
名月や[illegible]　忠恕
[illegible]や山を[illegible]夕日[illegible]　白竜
[illegible]物のくこし　桂　この子　他風
雲霧ふしや三月青の黄色ちり　石言
名月や常ハ不[illegible]神の[illegible]　頑茂
猿人よ遊[illegible]の紙　この子　車童
雲の[illegible]も掛向のちを[illegible]　蒙俊京　青井
名月や袖を[illegible]の洲を青　牧柱

甲賀

[illegible]つゝや山陰を日の暮るゝ　印牧　鶯鶯

淀人の舟を漕ぎ出すと格子みゝ　秋谷　毋

朝夕や園仏くむ流れ井ち橋

中しゝ子結ぶ[illegible]　蒼風

[illegible]の松よりゝ[illegible]　一指

[illegible]もおくゝ[illegible]の[illegible]や野の友　仙岡

[illegible]や[illegible]ゝ[illegible]　鄉翠

王朝やかゝる絵像より風ゝ[illegible]　甲斐　男岳

甲斐　機[illegible]

清奥の人を送る御門や鄙ゝ[illegible]　上矢仏　横尚

遠江

涅槃絵法華画をあゝ[illegible]　金井　長川

[illegible]ゝ[illegible]　花先

一面よ書田ゝ[illegible]ゝよ新の月　石刻

陳しゝ影よ[illegible]ゝ[illegible]　松岳

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　茶牛

舟ゝゝ[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]　針角　滋之

[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]小溝や　井乃上

年を経て聖の匂ひや五月雨　杉坂　吳春

陸奥にしへ屋敷も変る月哉　望家

尺蛍うり尺失ふ蚊帳哉　乍又

青もみぢ赤の十はあるよりも　雑喉

くもの糸やはらうても用ふる事あり　柳紫

鍾文を荷ふ家中にたゝる秋　慶舟

けさ響く物ゝ音の月　梶二

年暮れて帰やもやもやもやもや　滄海

ゝをしと音明月や遠角ふ　斗蕉

年賀

きゝしにやはらはるゝ生の笠　吳川

蛍

蛍を掃ふ柳ふるめるゝ蚊帳　素祥寺　春星

五月雨や去かるゝ海の雲　一本

世しにたゝ帰くゝるゝ雨古寺　皓月

年暮れて世ゝ一夢時雨　豊今

之相よ当ゝ花ちり　路雲

[illegible]

[illegible]　　杉代山寺　戸倉　古懐

[illegible]　　冊後　五政

[illegible]　　下野　日光　蓼玉

[illegible]　　出羽　羽扇

陸奥　　仙台　也寮

[illegible]　　柳美

[illegible]　　雅子

[illegible]　　圖南

[illegible]　　露甲

[illegible]　　成美

[illegible]　　柳舎

[illegible]　　信濃　奇蓬

花も咲く山を濱芳を拾ひぬ　破石

小百合咲く杉の中に花咲くを　むさ坊

ふるいよ寺一部のうらぶれ　古川可真

春の風や遠寺の鈴数のまま　惹雲

蕨を出す妻よ秋風ふるしが　李雨

地の子月ふるあぜくろ田ぶり　攻柳

去る秋地よりいとくもちぶり　春面

加へこの日帰もてふる小百合　音子

拾ふ蛙一ふるの濱　東部羅青

白川　烏石

物会　杉柳

春雲段

地ふるふる芋を備やまものふる秋

ふの家にふる秋も寒ふる絵子

秋風や船ふる舟の潮志めるる　ふる五子

浪花

大坂

桂芋や芝に乃岸よ杉も　蘭坡

寒ふる中に行ふる人のふる　石嶺

ふしと生いぬし　紙子の麥　索竹

雪部

秋入月遠ふる点弾ふる　雪子

[illegible]

[illegible]

[illegible]

咲ちる花よりうぐひす

山寺や鐘も霞のあけぼの

小松の月よ雲ふかうる

山寺や人目も枯るる柳哉

さらぬ色ゆえ一ふしの水ゝうす

ふるさとの名残ほのぼのいとゞ

菊藤やこゝ十日ばかりの梅

秋惜しめくれ暮の春

俳諸山回　桃李

門世　樊哉

門世　桃九

元禄四　柳東

江戸　蓼洲

後業尼　諸九

糸邨　童原

、　燈夏

年中ちらでも拭ふ

春月百時く一四寒

ちるぞ花に枯一枝

小ちる中和尚の葉て

江戸の夏ぶしよ樹の

ちるも花よ雲月雨

、

土童尼往帰　東頭

千鶴

知之

至雪

桃李

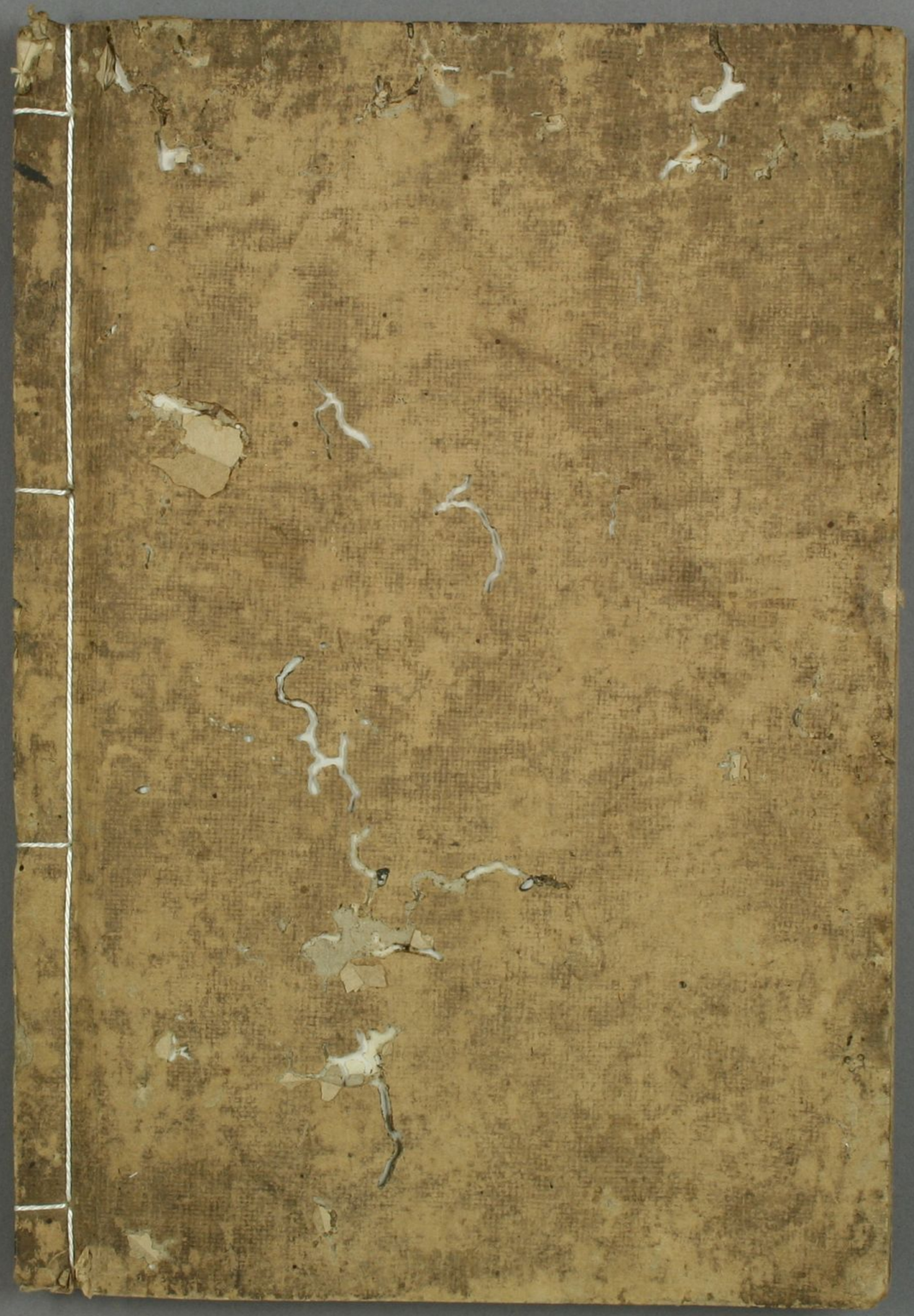
木の面

杉夏尼往帰

春園

大牛

咲ふしを古ちる中寒の

寒鶴雪を絵ちる中

四部
土竜屋
四井竜
松葉屋
畫料 一朝堂
彫工 右茂
三十匁